

平成28年度 自己評価書

学校名	和歌山市立西和佐小学校
校長氏名	東山 菊皇
作成日	平成29年2月14日

1 教育目標

強いからだと明るい心を持つ子どもの育成

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	(1)授業参観や啓発活動を通して保護者や地域の方々に子育てや教育に対する意識を高める。 (2)教職員の資質向上や意識改革を図るとともに、その取り組みを広く伝える。 (3)子どもの様子を積極的発信して保護者や地域の方々に知らせる。	(1)人権・同和教育を推進するとともに、人権意識の高揚に努める。 (2)学校や家庭での読書活動を推進し、ゆたかな心の醸成につなげる。 (3)地域や関係団体、育友会と連携しながら、豊かな体験活動を推進するとともに道徳教育を充実させる。 (4)教職員と子ども、子どもどうし、教職員と保護者のよりよい関係を通して、お互いの信頼関係を築く。	(1)基礎学力の向上を図る。 (2)コミュニケーション能力の向上と活用を通して生き生きと主体的に取り組む子どもを育成する。 (3)キャリア教育の整備を図る。 (4)教員の指導力等の向上を図り、子どもの学力を伸ばす。そのために外部から指導や助言を求める。

取組の状況【D】	◆学校通信「西和佐っ子だより」や学年だより・学級通信、授業参観や教育講演会等を通して子どもの活動状況を広く伝え、保護者の教育に対する意識を高めることを図った。また、学校開放月間等を活用し、教育関係者の学校訪問を促し、その取り組みを保護者や地域の方々に広く伝えた。	◆各学級で道徳教育を通して豊かな人間性を育て、人権・同和教育を推進することによって人権意識の高揚に努めた。朝読書や「うちどく」などを通しての読書活動も豊かな心につながると考えている。「にしわさ活動」では、6年生が下級生をまとめ、縦割りでさまざまな活動を行っている。上級生と下級生との心つながりに役だっていると思われる。	◆「西和佐っ子タイム」や基礎の時間を活用して、読み・書き・計算の基礎学力の定着を図った。また、放課後の補充的な学習の時間の設定により児童の学力補充に努めた。児童のコミュニケーション能力の向上や学力の向上につなげるため、市の客員指導主事等外部の指導者に助言を求める機会を増やし、教員の指導力向上につなげた。
取組の成果と課題【G】	○「西和佐っ子だより」や学年だより・学級通信、授業参観、学級懇談会等で学校の取り組みや子どもの活動の様子を概ね伝えることができた。学校をひらくという点では、授業参観や教育講演会では多くの保護者が参加してくれた。しかし、よりいっそう多くの保護者に学校や子どもの様子をわかりやすく伝えていくことが課題である。	○各学級の児童の様子からは落ち着いた学校生活を過ごしていることが伺われる。保護者アンケートでも「小学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる」と回答する保護者が7割強に上っている。また、学テの児童質問紙調査からも児童は、「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」90.9%と全国平均より7.8ポイント高い。	○国語科で身に付けるべき話す力・聞く力・話し合う力・書く力を明確にし、総合的な学習の時間等で身に付けるコミュニケーション・スキルの具体的内容を系統的に実践し始めることができた。朝学習・朝読書・水曜の5限の基礎の時間やチャレンジ・タイム等を機能的に活用して児童の学力の定着にいっそうつなげたい。
改善方法【A】	◎校内美化作業や花いっぱい運動等で地域のたくさんの方々に学校に来ていただき、子どもたちの環境づくりに力を貸していただいています。その成果の表れとして、「第34回県小学校人権の花運動」の写真コンテストで、最優秀賞に輝きました。次年度も本年度と同様、地域との連携の中でたくさんの方々の保護者や地域の方々に来校していただける学校にしたい。	◎道徳教育の工夫改善と人権意識の高揚を進めるとともに、児童が感動する体験活動を推進したい。日常の生活の中で、困っている人に優しく声をかけられる児童、人の役に立つことを進んで行う、児童の育成を進めたい。	◎話の流れをふまえて自分の考えを話すことや、各教科・領域等でじっくり考えて話す・書く活動を増やしていくことが必要です。そのため、授業で話し合い活動を多く取り入れ、主体的に自分の考えを持ち相手に伝える授業改善を研究して行いきます。今後指導要領の改訂に伴い「学びのかたち」の転換を見据え、話し合いや発表などの活動を多く含む課題探究型学習を増やします。

3 その他の課題

◆学校施設の老朽化(体育館・プール・トイレを含めた古い校舎)が課題である。平成29年度より、小学校5・6年生の教室にエアコンが設置されていく。今後、トイレの改修に一定の目的を立てたい。 ◆図書室の整備が課題である。今後、図書司書の配置を期待している。また、図書の蔵書等にも地域の方々のお力をお借りして進めていきたい。 ◆学校玄関前、里道についての学校・園の安全対策を進めたい。
